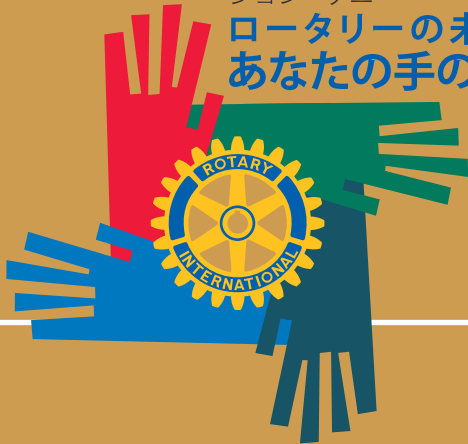


2009～2010年度 国際ロータリーのテーマ
ジョン・ケニー

ロータリーの未来は
あなたの手の中に



会長／対馬健一 幹事／中出敏彦

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2009▶2010 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

親睦でクラブの活力と結束を、 そして奉仕は足もとから

プログラム

- 本日
各委員長就任挨拶
- 次週予定
移動夜間例会(富丸)
会長・幹事を励ます会
卓話「我が生い立ち」

No. 2380

第3回 7月15日

出席報告

前例会

会員総数.....44名
出免会員.....5名
出免出席.....1名
出席会員.....34名
出席率.....85.00%

前々々会

第45回 6月24日

出席会員.....44名
メイクアップ.....0名
修正出席率.....100%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

- 7月2日にR I 2510地区ガバナー事務所に挨拶に行って参りました。
- 7月5日のクリーン作戦海水浴場ゴミ拾いに多くの会員の参加を頂きありがとうございました。
- 交通安全総決起大会並びに市中パレード参加要請が届いております。日時は7月28日午後3時30分で、留小グラウンドです。担当は社会奉仕委員会をお願いします。

3) 今年度の2510地区の地区大会の案内を受領しました。10月3～4日、滝川市に於いて開催されます。

会報受領先

- ・芦別RC No.2500号～No.2503号
- ・深川RC No.2452号～No.2455号
- ・砂川RC No.1918号～No.1920号
- ・妹背牛RC No.今年度37号～40号

ゲスト 米国総領事 ダーナ・ウェルトン様
ビジター 政務担当補佐官 赤坂 直之様

📁 幹事報告

- 1) 妹背牛RCより活動計画書を受領しました。
- 2) 深川RCより7月の例会変更をいただきました。21日は休会。28日は夜間例会です。



ニコニコBOX

- ・7月11日海開きです クリーン作戦参加ありがとうございました 対馬会長

第2回 7月8日(水) 天候/雨

- ・ガバナー補佐就任しました 田中会員
- ・総領事ようこそいらっしゃいました 二ノ宮会員
- ・副会長就任 鈴木会員
- ・最終夜間例会河部親睦委員長よりいただきました 中川会員
- ・海水浴場クリーン作戦参加協力ありがとうございました 西谷(恭)会員
- ・昨日TVに出てしまいました どんとう祭りご支援お願いします 串橋会員

前 回	171,000円
今 回	37,000円
累 計	208,000円

プログラム……………

「目玉焼きはお箸で食べるもの」

米国総領事 ダーナ・ウェルトン様
長い経歴を紹介して頂き、聞いている内に私はおばあちゃんになってしまいました。実は私がロータリーで卓話をするのは35年ぶりになります。私は35年前、ロータリー交換留学生としてニューヨーク州から14人の内の1人として日本を訪れました。その時九州からニューヨーク州へは13人が留学生として派遣されました。

私は日本であちこち勤務をしましたが、当時の交換留学生に会うと、日本からの留学生にはニューヨークの大使館に勤めている人もおりますし、私の交換学生先輩も国務省の外交官になっておりますので、本当に私自身ロータリーのお陰だと思っております。60年代70年代の若い人たちの交流を支援していただき、感謝しております。

今日の題名「目玉焼きはお箸で食べるもの」は35年前の体験に基づくものです。当時、東京羽田に到着し、新幹線で福岡博多へ、そして急行電車で熊本まで行きました。熊本で1泊して次の日の朝、朝食に出てきた目玉焼きをどの様に食べたかという事です。当然日本ですから、ナイフ・フォークの代わりに箸があったのですがどの様に食べたかという話です。この結末は



今日の話の最後に説明します。

外交官になる時に国務省では研修が沢山ありますが、実は私が外交官になるための教訓と言えば、また外交官に役に立つ知識と言えば、私が交換留学生の時の1年の経験からのものです。

35年前の経験は本当に私の一生を左右するものになりました。私はロータリーのお陰で現在の外交官になる事が出来ました。私が学んだ事の中に、この外交官としての6つの大切な事があります。

第1にコミュニケーション。お話する力です。自分の言いたい事を相手に伝える、理解してもらうことです。第2に忍耐心。外国に行くと日本語も出来なかった時、耐える事も大切です。第3に柔軟性。これは色々な文化、考え方、価値観が違うので柔軟性が無いと巧く外交が出来ません。柔軟性は大切です。そして4番目は柔軟性にやや近いですが、好奇心です。本当にものを知りたい、何故、どうして、わからない時にはその理由まで探る事は非常に大事で、ものを理解する時には好奇心が必要です。そして格差。違うことを大事にする、外交する時、交渉する時には相手が自分と同じではない、相手の立場を理解する事が大切です。最後に一番大切なことは、謙遜。外交にはこの謙遜が大切です。1年間熊本に滞在した時、この謙遜を勉強する、身に付ける沢山の機会がありました。

コミュニケーションは多少とれましたが、最初の日は日本語があまり出来なくて、「〇〇は何処ですか？」位しか出来ず、当然アメリカでは日本語を教える所は無かったので、私が1年間で言葉を聞きながら勉強しました。ホストファミリーの中には私と同じ年齢の子供がいて、彼は話すより書くことが上手だったので、ノー

トに書きながらコミュニケーションを計りました。その時は身振り手振りの手話みたいな事をしてコミュニケーションを取りました。

ホームステイで最初におつかった問題は、日本のおフロで、日本の文化などを少し勉強していたので日本のおフロの入りは分かっていたのですが、外で洗って十分石鹸を落としてからおフロに入るという事まで、おフロを上がったあとのおフロの水はどうするのかは、日本のガイドブックには出ていません。裸でいるので聞きに行く訳にはいかず、大変悩みました。その時は水を抜くと取り返しが付かないので、取りあえずパジャマを着て、ママさんの手を引っ張りながらおフロに連れて行き、身振り手振りでそれをわかってもらおうと大変苦労いたしました。

コミュニケーション。私が日本の若い高校生にも言いましたが、最初からきれいな文章で話すことは出来ないのですから、自分の知っている限りの言葉を使って伝えれば良いし、どんどんそれが重なって相手が解ってくれるのも時間の問題です。自分がきれいな英語を話せるまで待ったら、何もコミュニケーションが取れない訳です。沈黙になってしまいます。その事をよくわかっていたと思います。熊本の高校生はいたずら好きで、標準語ではなく私に悪い熊本弁をたくさん教えてくれました。その熊本弁は今では使えません。悪い言葉ばかりです。熊本の民間についても本当によく分からなくて、色々説明されてもあまりよくわかりませんでした。週末はよくあちこちに連れて行ってくれましたが、説明されてもよくわからないので、何かよい事があるのだろうと楽観的に考えるようになりました。

また、こちらの高校では弓道部に入部しました。弓道は最初からの前に立って矢を打つのではないのです。アメリカ人として初めて弓道部に入ったのですが、弓道はまず廊下を拭くことから始まるのです。弓道クラブに入って何ヶ月も弓も矢も使わず、廊下を拭くことから、これは面白いスポーツだなと思いました。しかし、このクラブによってしつけと言うものが身に付

いて、尊敬というものがあって先輩から少しずつものを得て、初めて技術が身に付く事を知りました。その結果、私たちのクラブは県大会で2位になりました。

柔軟性は大切で、本当に正座による膝の柔軟性も大切ですが、熊本での1年間は学校は同じでもホストファミリーは3ヶ月ずつ新しいホストファミリーに変わりますので、当然学校への行く道も違いますし、その家で作った弁当の味も違うし、言葉のかけ方も違います。家族構成も違います。ですので、新しい環境への柔軟性、何でも受け入れられる柔軟性はこの1年間で培われました。この柔軟性は外交官になってからとても役に立っています。どこに行っても新しい事に挑戦出来るようになりました。この挑戦も前に言ったように好奇心が大切で、相手の事を理解する時も、相手に対しての好奇心がなければならぬので、この事は良い外交官になるには大切な事だと思います。

修学旅行で奈良に行った時、唐招提寺の前で1時間ずっと立ってお坊さんの説明を受けましたが、その説明は全然わからなかったもので、建物をじっくり見て柱の間を数えたり、色々と頭の中に入れておりました。私は大学院で建築・日本美術史を勉強していた時、「あっ、唐招提寺だ」と建築と建物の事が頭にあり、言葉がわからなくても大変勉強になりました。退屈だなと思って建物を見ていないと、その知識は頭に入らなかつたろうし、好奇心があったからこそ非常に役に立ったのだと思います。

私はアメリカ人ですので、対応性はありますが、私はニューヨーク州の小さな所から遣って来ましたので、人への対応性とか、世の中への対応性はあまり身に付いておりませんでした。最初の対応性で楽しいなと思ったのは、お茶の稽古をしている時のことです。お茶の先生はロータリーの方で、各交換留学生の為にお茶を教えてくださいました。ある日、私ともう一人の交換留学生をお茶の稽古の後、自宅へ連れて行き、「学校はどうですか」とか、色々な話をしてくれました。この先生は私の第2のお父さん、お祖父ちゃんのような方で、「文化とか、違う所に

第2回 7月8日(水) 天候/雨

価値がある」と教えてくれました。抹茶の後に紅茶を飲みながら、世の中の事を聞かされ勉強になりました。ほとんど毎日のように謙遜を習いました。いばって生きて行く事は出来ないの、自分は普通の人間である。間違いだらけの人間であるとか、間違いだらけではなくても身分を下げる事によって、周りの人が自分を大切にしてくれる事を習いました。

目玉焼きのことですが、ホストファミリーの中に小学生のまさひろ君という、私大好きな子供がおりましたが、目玉焼きが出てきた時、私はそのまさひろ君の食べ方をこっそり横目で見、そのまさひろ君にコミュニケーションをして食べ方を教わりました。ゆっくりと目玉焼きの周りを箸で削りながら食べ、その箸の柔軟性を利用してまさひろの食べ方に好奇心を持って見て、箸とフォークの格差、違いに挑戦し、謙遜しながら、箸を使って箸が目玉焼きの下に入り、持ち上げて食べたという、本当にこの6つの事があって、それを合わせて目玉焼きは箸で食べるという事になりました。

本日はご清聴ありがとうございました。



■ 留萌市海水浴場クリーン作戦 ■

7月5日(日) / 午前7時より

